

2024年11月8日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 源氏田 尚子

ルワンダ国マサカ上水道整備事業  
(協力準備調査(有償))  
スコーピング案に対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2024年10月25日(金) 13:58～17:16
- ・場所：JICA 本部（2階220会議室）及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：東委員、源氏田委員、鈴木（克）委員、長谷川委員
- ・議題：ルワンダ国マサカ上水道整備事業（協力準備調査（有償））に係るスコーピング案  
についての助言案作成
- ・配付資料：
  - 1) 【事前配布資料】ルワンダ国マサカ上水道整備事業（協力準備調査（有償））SC案
  - 2) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2022年1月）

全体会合（第162回委員会）

- ・日時：2024年11月8日(金) 14:00～17:08
- ・場所：JICA 本部（2階202会議室）及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 本事業に関し、人口増加見通し、生活用水原単位、浄水処理方式、配水方式を含め、最新の情報に基づき計画諸元の再検討を行い、必要に応じ修正し、その結果を DFR に記述すること。
2. 地下水の取水については、地域の環境、特にパピルス優占湿地の生態系、貴重種に及ぼす悪影響が懸念される。地下水の状況については不明な点があり、今後地下水に関する調査を進め、地下水取水の適切性について検討し、必要があれば河川水、湖水からの取水という他の代替案に変更することも検討し、その結果を DFR に記述すること。
3. 日本における水道水源の年間取水量のうち、地下水が約 20%を占めているところ、地下水を水源とする上水道を運営する地方自治体での取水方法、環境配慮、維持管理やリスク管理等の研修計画を策定し、DFR で提案すること。

### **代替案検討**

4. 代替案比較においては、重みづけされていない相対的評点は誤解を招きやすいため、可能な限り他の定量的指標を用いる、重点・優先評価項目を明示する等の方法を工夫し、分かりやすい総合評価プロセスおよび比較検討の結果を、ステークホルダー協議で説明するとともに DFR へ記述すること。

### **環境配慮**

5. 本件 EIA 調査で、絶滅危惧種、危急種、準絶滅危惧種等の生息、繁殖が確認された場合は、パピルス優占湿地をはじめ、希少生物種の重要な生息地に対する影響を最小限とするための緩和策として、重要生息地を避けた施設の設置・設計、工事中的影響の最小化等を検討し、結果を DFR に記述すること。

### **社会配慮**

6. 配水管の整備に当たっては、貧困層のために集落ごと、あるいは数軒ごとの公共水栓/スタンドパイプを設置することについて、水衛生公社 (WASAC) と協議し、結果を DFR に記述すること。

以 上